真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	救急医療対策事業	担当課・係	健康福祉部　健康増進課　地域医療係
政策名　No	2　「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	7　地域医療体制の充実		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
病院群輪番制病院運営負担金	千円	20,223					
病院群輪番制病院設備負担金	千円	0					
小児救急拠点病院支援事業負担金	千円	3,904					
かかりつけ医を持っている市民の割合	%	80.5					82
市内の医療体制に満足している市民の割合	%	72.1					87

事業内容

【事業概要】
・市民が生涯にわたり地域内で適切な医療を受けられるよう、病院群輪番制運営を担う芳賀赤十字病院に助成を行うことで、救急車や初期救急医療機関から搬送されてくる重症患者への医療体制を確保する。（負担額は芳賀広域行政事務組合正副組合長査定により決定）
①病院群輪番制病院運営負担金
・休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療確保を目的として、芳賀地区広域行政事務組合と連携のもと、病院群輪番制方式による「第二次救急医療施設」を整備し、初期救急医療施設及び救急患者の搬送機関との円滑な連携体制を構築する。
・病院群輪番制運営を行う芳賀赤十字病院の運営費の助成を行うもの（H19年度から病院群輪番制病院は芳賀赤十字病院の１病院が実施）
②病院群輪番制病院設備負担金
・病院群輪番制運営を行う芳賀赤十字病院において必要となる医療機器等の購入費用の助成を行うもの（概ね３年に１回）
③小児救急拠点病院支援事業負担金
・小児救急拠点である芳賀赤十字病院に対し、運営費の助成を行い、小児の二次救急患者をいつでも受け入れられるように支援するもの

前年度の課題（Check）

救急患者の受入れ件数が増加傾向にある

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
本事業の実施により、二次救急医療施設において、初期救急医療施設及び救急患者の搬送機関との円滑な連携体制を保持することができた。
・芳賀赤十字病院における救急車による患者受け入れ件数
　R7　4,311件（うち真岡市民　2,142人）
・病院群輪番制病院設備負担金は該当なし

【２】結果と課題（Check）
【結果】
本事業の実施により、二次救急医療施設において、初期救急医療施設及び救急患者の搬送機関との円滑な連携体制を保持することができた。
【課題】
市民が生涯にわたり地域内で適切な医療を受けることができるよう、芳賀赤十字病院及び芳賀地区広域行政事務組合と引き続き連携を図る必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
救急車や初期救急医療機関から搬送されてくる重症患者や小児の二次救急患者をいつでも受け入れることができ、市民が生涯にわたり地域内で適切な医療を受けられるよう、芳賀赤十字病院及び芳賀地区広域行政事務組合と引き続き連携を図る。

（2）長期的な計画で検討すること
救急医療体制の充実のため、県や県東健康福祉センター等と連携を図り、安定した救急医療体制の整備に努める。